

THE SHAKAI SHIMPO

社会民主党機関紙  
1◆1 第二部  
(金曜日)  
2016年 第4966号 (4463号)

# 社会新報

発行所  
社会民主党全国連合機関紙宣伝局  
通刊(水曜日発行)  
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3  
永田町ビル9F 電話03-5561-3203  
電話 03(5562)7375・FAX03(5561)3203  
●定価 180円 ●1ヵ月700円 ●送料164円

2015年夏、国会前に響き渡った「戦争法反対！」の声は、冬になってもやむおきではない。危機感を抱いた若者たちがつくり出した大きな波は、2016年の日本政治の風景を確実に変えていくに違いない。

## 戦争法廃止！ 野党は共闘！



↑国会正門前のSEALDsの学生たち(15年7月17日)。声を上げる若者の象徴的存在となったSEALDsの奥田愛基さん(7月31日 国会前) Ⅱ左。寒くなくても「銀座大」で氣勢を上げる(12月6日) Ⅱ右。

### フオトラ平和・人権・環境共同代表 福山 真劫



2015年、私たち(戦争させない)9条壊すな総がかり行動実行委員会、戦争させない1000人委員会、フオトラ平和・人権・環境は、「戦争する国・軍事大國」へと暴走する安倍自公政権の動きを「戦後最大の平和と民主主義の危機」と捉え、従来型の運動の限界を超える枠組み、つまり「非代々木系」と「代々木系」の運動の統一を成功させました。そのことが結果として、全国で、60年安保闘争に並ぶ市民、若者、学者、学生、アタたち、高齢者、市民団体等の自律的運動の拡大を現出させ、野党共闘を実現させました。そして安倍自公政権を追い詰め、確実に次の闘いへの展望を切り開いています。

2016年は、戦争法の発動阻止、沖縄の辺野古新基地建設阻止の闘いが最大の山場を迎えます。私たちは、戦争法廃止・沖縄新基地建設阻止・立憲主義確立のため、安倍自公政権を政策転換・退陣に追い込む闘いを構築しようとしています。そのことが可能だと確信しています。そのため、基本的な戦略は、圧倒的な大衆運動の盛り上がりを生み出すこと、7月予定の参議院選挙で与野党逆転を勝ち取ることです。具体的取り組みは、①毎月19日の全国統一行動、②第3火曜日の全国街頭宣伝行動、③情勢に対応し、戦争法発動・具体化阻止行動、④連署訴訟支援、⑤2000万統一署名運動、⑥5・3全国集会——等を計画しています。とりわけ2000万統一署名運動は、戦争法案廃案の闘いをつくり上げた団体が統一して、一つの署名運動を行なうという画期的な取り組みで、全国で拡大しています。5・3集会は、東京集会と併せて、全国で準備されています。

沖縄辺野古の米軍新基地建設反対の闘いは、「一兆円沖繩」の闘いと連動して、総がかり行動実行委員会も全力で取り組みを開始しました。こうした取り組みの上に、7月参議院選挙で、野党が安倍内閣退陣を目指す野党共闘を実現できれば、参議院での与野党逆転が可能となります。私たちは、野党共闘を求め続けます。その実現は野党の責任です。また、私たちは市民団体と一緒に「市民連合」に参加し、野党を支援します。こうした情勢認識の下、みんなの力で安倍政権退陣を勝ち取りましょう。

## 戦争法廃止・沖縄新基地阻止に向け 安倍自公政権の退陣をかちとろう